

# 防災チャットボットにより被害状況を早期把握、避難支援情報を提供する（宮崎県東臼杵郡椎葉村）

事業者：内閣府、研究機関

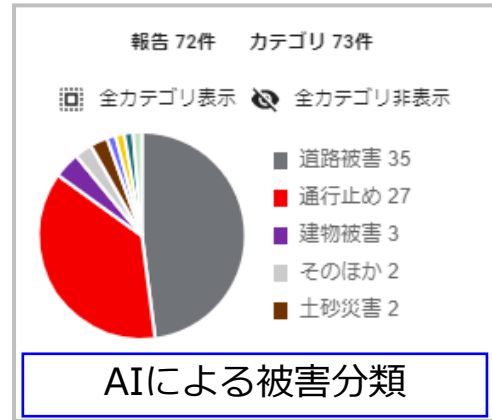
## ＜防災チャットボット＞

LINE等のSNS上で、AIが人間に代わって 自動的に被災者に対話するシステム



### 道路被害に関する投稿

林道竹の枝尾～一つ戸線  
集会センターの先 崩土があり通行不可  
■ 通行止め



**対策名：** 123 防災チャットボットの開発等、SIP国家レジリエンスに関する対策



**主たる施策グループ：** 5-1) テレビ・ラジオ放送の中断や通信インフラの障害により、インターネット・SNSなど、災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態

人材・研究等

**事業名：** SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」

- ポイント**
- 防災チャットボットを開発し、全国76の自治体に導入（令和4年度末時点）
  - リアルタイムの情報共有、超急性期における状況把握に貢献

### 地域の概要・課題

激甚化・頻発化する災害時の避難や被災者支援において、より適確な被災状況の把握や避難のための適切な情報提供が課題でした。このためには、きめ細かな被災状況や支援ニーズを把握すること、また、被災者ひとりひとりに、それぞれに合わせた情報を提供することが必要でした。

### 事業の概要

災害時に、LINE等のSNS上で、AIが人間に代わって自動的に被災者に対話するシステムである「防災チャットボット」を開発しました。

全国76の自治体に導入しました（令和4年度末時点）。

### 効果

令和4年台風第14号において、宮崎県椎葉村の被害状況の早期把握に防災チャットボットを活用し、72件の投稿を取得しました。

防災チャットボットは、本部及び現場間のリアルタイムの情報共有を可能とし、超急性期における状況把握に貢献しました。



(1) 1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策  
最小化する被害を防止・

(2) 2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策  
国民経済・生活を支えるための対策  
国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

(1) 3 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進  
デジタル強靱化に関する施策の

(2) 伝達の高高度化  
伝達の高高度化